

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成26年度)

2. 分野等別状況 (2)地域活性化総合特区 ①グリーン・イノベーション分野(11/11)

	評価区分 (※)	評価結果 (ⅠとⅡとⅢの平均値)	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
			目標に向けた取組の進捗に関する評価	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	総合評価	
栃木発再生可能エネルギービジネスモデル創造特区 (栃木県)	正	2.6	1.9 進捗度 ・農業用水を活用した小水力発電事業による発電総出力、年間電力量 (※) ・小水力発電施設の製造、設置やメンテナンスに関わる県内企業の売上げ増加額 (※) ・小水力発電事業の推進 36% (※)は定性的評価	3.3 規制の特例等 ・特定水力発電事業 等 財政支援等 ・小水力等農村地域資源利活用促進事業 地域独自の取組 ・流水占用料の減免検討 等	2.5	<p>・平成26年度に予定していた金融市場を活用した資金調達に至らず、計画決定に至っていないなど、事業の進捗が遅れていることが懸念される。</p> <p>・すでに特区指定後3年以上を経過している段階において、27年度に目標とする200kWを設置することができるか否かが大きな鍵であるが、その見通しが立っているのかもはっきりしない。</p> <p>・低落差型水力発電装置の運用上の制限など重要な知見が得られていることは評価される。一方で系統連携の協議が円滑に進んでいないこと、新たな施設設置のための事業者との協議が進んでいないことに対して、県のより能動的な推進のイニシアティブが期待される。</p>

◆評価書は[こちら](#)

◆評価結果は[こちら](#)

※「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。